

食の大切さを踊って学ぶ 鳴門第一小で給食集会



ダンスを通じて食の大切さを学ぶ
児童＝鳴門市の鳴門第一小学校

鳴門市の鳴門第一小学校で24日、栄養のバランスや食生活の大切さを見学し、子どもに学んでもらう「保健給食集会」が開かれた。

全校児童約460人が参加。管理栄養士らでつくる「とくしま食育推進研究会」の会員が講師を務め、歌って踊りながら

栄養素の種類を学ぶ「ホネダンス」を紹介した。

児童は簡単な振り付けを交えて「力のわく炭水化物」「体を強くするのはたんぱく質」などと歌

いながら、栄養について学んだ。歩数計を使ったゲームもあった。

5年生の兄弟、西森悠貴君(10)と脩貴君(10)は「好き嫌いをなくすようにしたい」と口をそろえていた。